

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金 (街路事業)		路線又は箇所名等		野田都市計画道路 3・4・20 号 今上木野崎線		
事業所管課		道路整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成 24 年度	用地着手年度	平成 25 年度	工事着手 (予定) 年度	平成 29 年度	工事終了 (認可) 年度	平成 30 年度	再評価の理由	再評価
費用便益比 B/C	2.1 (2.4)	総費用	77 億円 (68 億円)	総便益	163 億円 (163 億円)	基準年	平成 28 年度	供用開始 年度	平成 31 年度

※上段：全体事業 下段 ()：残事業

【事業概要】

(目的)

本路線は、市街地の外郭を環状に結ぶ路線の一部であり、東葛飾北部地域の新たな東西軸となる広域幹線道路である。野田市山崎交差点から国道 16 号に至るまでの市道 1260 号線では、慢性的に渋滞が発生しており、踏切部はボトルネック踏切となっている。

本事業は、東武野田線との立体交差（アンダーパス）を含む約 0.7 km を整備することにより、東西方向の道路ネットワークを強化し、梅郷駅周辺市街地に集中する通過交通の分散やボトルネック踏切からの交通を転換し、市街地交通の円滑化を図るものです。

【事業の進捗状況】（平成 28 年度末見込み）

	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率
事業費（億円）	82.0	2.5	79.5	3.1%
うち用地補償費	35.7	2.5	33.2	7.0%
うち工事費	46.3	0	46.3	0%

【社会経済情勢等】

現道である市道 1260 号線は、埼玉県と連絡する玉葉橋から国道 16 号へ抜ける交通の流入により、混雑が著しい状況にあり、国道 16 号との交差点部は、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会により主要渋滞箇所に、東武野田線と交差する踏切部はボトルネック踏切にそれぞれ位置付けられている。

特に、朝夕のピーク時を中心に交通量が多く、市道 1260 号線の自動車の日交通量は 11,556 台/日、ボトルネック踏切の踏切交通遮断量は 56,624 台時/日となっている。

また、梅郷地区周辺には南部工業団地等の物流基地となる工業団地が点在していることもあり、大型車の混入率が高く、騒音や振動等の環境負荷の増大や横断する歩行者等への危険につながっている。

【対応方針(案)】 継続

費用便益比 (B/C) が 2.1 (残事業 2.4) であり、費用対効果が見込まれる。

整備効果として、梅郷駅周辺市街地の交通の円滑化や踏切部のボトルネック解消による交通混雑の緩和が期待される。特に大型車の混入率が緩和されることにより、交通環境の改善や、歩行者の安全性向上等の効果が期待できることから、事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

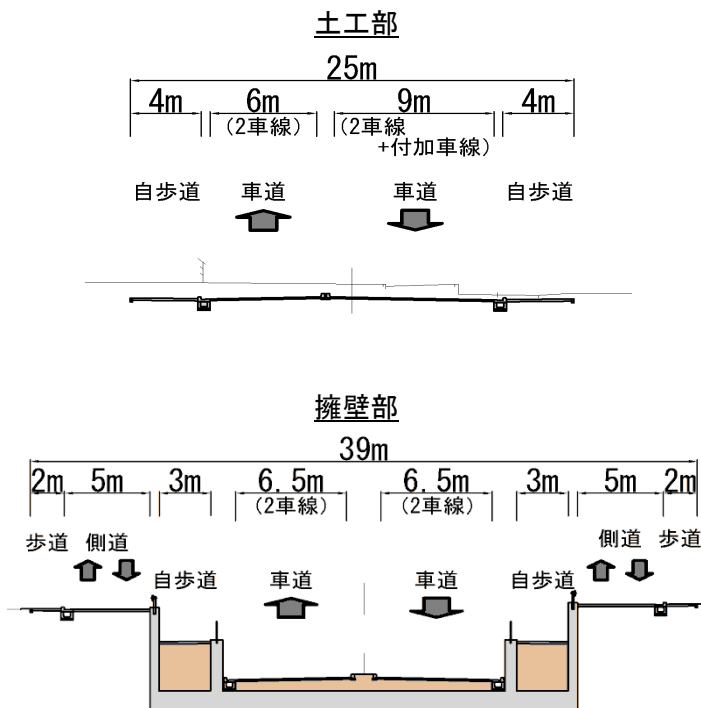
事業概要図

番号	2	事業名	社会資本整備総合 交付金 (街路事業)	路線又は箇所名等	野田都市計画道路3・4・20号 今上木野崎線
----	---	-----	---------------------------	----------	---------------------------

・位置図



・標準横断面



・平面図

